



学校だより

学校ホームページ <http://www.adachi.ed.jp/adnahi/>

平成31年2月1日（金）

足立区立中川東小学校

校長 豊田 純子

「ありがとう」を大切に

副校長 竹前 透

冬晴れの気持ちのよい日が続いています。保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

先日行われました、書き初め展、持久走記録会には、お忙しい中、多くの方にご参観、応援していただき、誠にありがとうございます。

さて、よく「自尊感情を高める」「自己肯定感を高めよう」と言われていますが、どうしてでしょう。

それは、自尊感情が高い傾向にある子供たちは、次のような様子が行動面として表れます。「学習意欲が高い」「授業の理解度が高い」「課外活動に積極的」「欠席が少ない」「遅刻が少ない」「教師など大人との関係が良好」「人の役に立ちたい」「自分は生まれてきてよかった」「自分の命を大切にしたい」…これらは「自分の大切さとともに他の人も大切にす気持ち」（人権尊重の理念）です。このような気持ちを育むためにも、子供の自尊感情や自己肯定感を意識し、高める教育は重要です。

自尊感情をもてるようになる為には、①親の愛情や励まし②友達からの評価、自信をもったり心細くなったりするなど、友達からのサポートや評価が重要になってくる③社会の中での役立ち感④様々なライフイベントなどがあると言われています。

社会の中での存在意義を見つけさせることが大切になってきます。学級、学校、家庭、地域などの中で自分の居場所があり、役に立っている（人に求められている）という実感がもてるようにすることが必要になります。先日、あるシンポジウムに参加したとき、パネリストの方が次のようなことを話していました。

「私は地域の方々や保護者の方にお話をする機会に、折にふれ『ありがとう』という言葉をお大事にしてくださいと、訴えています。中学生が地域清掃をしても募金活動をしていても『頑張っ』じゃなく、『ありがとう』の言葉は子供の心に届きますよと、だから『ありがとう』の言葉をかけてくださいとお願いします。」

ある新聞の記事にもありましたが、『ありがとう』の言葉は脳を活性化して人を笑顔にさせるそうです。教師や我々大人が子供にかける言葉として子供を笑顔にさせる、自己肯定感を高めることにつながる言葉です。

「今のはよかったよ。」と認め、褒める言葉が子供たちを大きく成長させます。子供たちが自分は尊重されているという実感をもてる自己肯定感を伸ばしていかなければなりません。

学校、家庭、地域でも「ありがとう」という言葉を1回でも多く、子供たちに伝えていきたいものです。

訃報

本校第二代校長 吉本 雄幸先生（享年 93 歳）が、平成31年1月21日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。中川東小学校の創成期にお力を尽くされました。ご長女様の「学校は父の誇りでした。」のお言葉が心に残ります。

専科の様子 ～算数・音楽・図画工作～

算数

算数習熟度別指導（4～6年） 稲増 眞由美

中川東小学校では、算数でも学習の進め方を統一して毎日同じ流れで授業を行っています。問題把握→見通し→めあての確認→自分の考えをもつ→友達の考えを聞く→まとめ→練習問題→振り返りという項目に沿って授業を行っています。子供たちは、自分の考えをもつために、問題から先ず何がわかるのかをしっかりと把握することが必要となります。その上で、式や図などを考えていきます。

さて、今年の10月から消費税が10%になりますが、1月に行った5年生「百分率（%）とグラフ」の授業の1コマを紹介します。「定価150円のペンが30%引きになると代金はいくらになりますか。」という問題では、2つの考え方が出てきました。自分の考え方以外にも他の解き方があることを知り、自分はどの方法がより分かりやすいかを考えて次の問題に進んでいました。このように学習したことを生活の中に活かし、自分で計算して買い物ができるようになってほしいと思っています。

もうすぐ学年末になりますが、その日その日の学習をしっかりと習得し力を付けていくためにも、分からないところをそのままにせず、教師や友達にどんどん質問して「わかった」「できた」と達成感を味わい「算数って楽しいな」と感じられる児童を育てていきたいと思っています。



音楽

音楽専科 村越 裕子

今年度、5年生は11月に連合音楽会に出演しました。これは、二年に一度、出演順番が巡ってきます。曲目は、合唱「Let`s search for tomorrow」、合奏「ヤングマン」でした。そして、恒例のジョイントコンサート。練習を通して目を見張るような成長がありました。

また、学芸会の劇の挿入歌は各学年の特徴があって楽しい音楽になったと思います。保護者・地域の皆さま、お忙しい中参観いただきありがとうございました。

そして、6年生は卒業に向けた練習に入っています。卒業式での歌声を楽しみにして下さい。



図画工作

図画工作専科 西川 久美子

2年生以上の図工を担当しています。図工の授業では、子供たちが色々なものに出会い、触れてみて、五感をめいっぱいはたらかせて活動することで、心とからだを豊かに育てたいと考えています。低学年では身近にあるものを生かして製作します。それが中学年から高学年になるにつれて、だんだん本格的なものを使うようになっていきます。例えば、工作では「いろがみ」→「画用紙・工作用紙」→「段ボール」→「細めの角材（木）」→「太めの角材」→「角材」+「板（木）」となります。また、平面的なものから徐々に立体的なものへ発展していきます。

新しいモノに出会うとき、子供たちはとても素直に興味を示します。特に本物の木材を手にしたときは、触りながら匂いを嗅いでみたり、コンコン音をたててみたり、切った時の木くずを集めて「フワフワだよ！」と友だちと触れ合ったりします。工作に限らず、何かデモンストレーションをやってみせると、「おお～！」と歓声をあげてくれます。

子供たちにとっては、いつも新しいことへの期待と不安と、挑戦なのかもしれません。どんな思いで、どんな作品をつくっているのかなど、ご家庭での話題にさせていただけると、さらに子供たちの意欲も高まることと思います。また、廊下などに作品を展示しています。学校公開の時などに見に来ていただくと嬉しいです。「製作中のもの」や「完成したもの」などを見ることができて、子供たちのエネルギーを感じられると思います。

中川東小 2019年1月 アルバム

☆書初め展 1月15日(火)~1月25日(金)☆

書き初め展では、多くの保護者の方にご参観いただきありがとうございました。低学年は硬筆、中高学年は毛筆の書き初めを行いました。書き初めは、文字を正しく整えて書くことをめあてとしています。また、新年への決意や意気込みを表す、日本の伝統行事でもあります。書き初めの学習は日本の伝統行事を学ぶ場であり、書写学習のまとめとも言える学習です。書き初めの文化を体験し、一字一字に真剣に取り組んだ学習になりました



☆持久走記録会 1月19日(土)☆

爽やかな冬晴れの中、持久走記録会が行われました。当日は、多くの保護者や地域の方々の応援の中を懸命に走る子供たちの姿がありました。走り切った子供たちの表情は、達成感と充実感で満ち溢れていました。この経験を今の学年での残りの学校生活へ生かしてくれることでしょう。

最後になりますが、この持久走記録会で子供たちの安全を確保して下さった、地域の方々、お手伝いいただいた保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



☆短縄旬間 1月21日(月)~2月1日(金)☆

短縄旬間では、20分休みに全校児童の一人一人が、できるようになりたい技を目標に練習しています。友達同士で技のコツを伝え合ったり、さらに難しい技に挑戦しようと工夫したりする意欲的な児童がとても多くいます。ご家庭でも、お子さんの上達をぜひ見ていただきたいと思います。

